

平成 24 年 9 月 4 日 00082 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】 熱中症に注意しましょう！

今年は、お盆を過ぎても 30 度以上の猛暑の日があるなど、残暑が続いています。9 月に入っても暑い日が続きそうです。

こまめな水分補給と体調管理で練習に励んでください。過去 5 年間の報道記事によれば、8~9 月に集中して熱中症が発生しており、柔道では山形県で部活動中の高校生 3 名が熱中症を発症し搬送されました。また、剣道では岐阜県瑞浪市で剣道大会に出場していた女子生徒 8 名が救急搬送された報道もあります。いずれも、適度の水分補給を行っている中での出来事でした。熱中症は、急性心不全や多臓器不全を引き起こし死に至るケースもあります。適度な水分補給を心がけ熱中症対策をお願いします。(佐藤)



平成24年度柔道等授業支援事業外部指導者等派遣事業



北海道教育委員会が主催する、中学校の体育授業（柔道）での「外部指導者派遣事業」が行われます。中学校からの依頼は、現段階で北見市立温根湯中学校だけで、依頼講師には北見市柔道協会理事の森谷 明氏を指名しています。実施日は、10 月 2 日・4 日・9 日・11 日・16 日の各 2 時間を予定しています。森谷明氏は「時間の許す限り協力したい」と応えています。また、北見市教育委員会学校教育部 小野朋之指導室主幹は「武道を通じた教育活動には、スポーツとは違った側面での教育的効果も期待しております。礼儀作法等を含め、専門家の力をおかりしながら、生徒の健全育成に今後も努めてまいりたいと存じますので、ご協力のほどお願い申し上げます」と述べております。

連載【週刊氷川丸】 ③ 氷川丸と姉妹船(2)-1

1941(昭和 16)年 12 月 8 日、日本の真珠湾攻撃から始まった太平洋戦争において、氷川丸と姉妹船日枝丸・平安丸は軍に徴用され、特設潜水母艦や特設運送船として潜水艦に補給・修理・乗員の休養などの支援を行いました。

1943(昭和 18)年 11 月 17 日日枝丸(ひえまる)は聯合艦隊所属 特設運送船として艦長原田文一海軍少佐の指揮の元、第 17 師団第 3 輸送隊としてトラック島からラバウルに向かう途中、トラック沖で敵の潜水艦による雷撃にて中間軸受 6 個損傷、その後、引き揚げ第 2152 船団の一角として航行中、米潜水艦 Drum により三番艙に被雷、総員退避後約 5 時間炎上の末沈没しました。この海域にいた日本海軍艦隊第 17 師団は、野戦病院・通信隊・輸送隊などで構成され、戦闘艦約 30、補助艦・輸送艦約 25、偵察機 1 機からなる海軍における後方支援の主力でありましたが、ラバウルへ物資や兵力の輸送を行っていた輸送艦は数多沈められ、日枝丸も同様に撃沈させられました。除籍までの 2 年間で、ガダルカナル島への補給や主力艦隊への補給など重要な任務に当たっていました。 次週へ続く。



日枝丸